

みなさん読んでください！ 広報誌「さかもと」

# さかもと

## 4号



医療法人 聖和錦秀会

阪本病院

精神科・神経科・心療内科  
内科・歯科

・阪本病院は花だらけ 阪本病院の緑化運動  
・釣リクラブ同行取材体験記

・エッセイ 川越知勝先生特別寄稿

「阪本病院にいた教授たち」

・コラム みんなの★MONO★ものじまん

さかもと的  
curryなる生活

おしえて かつん！

### なんでも相談室

特集

精神疾患を“知る”ということ

### 阪本病院公開セミナーのすべて

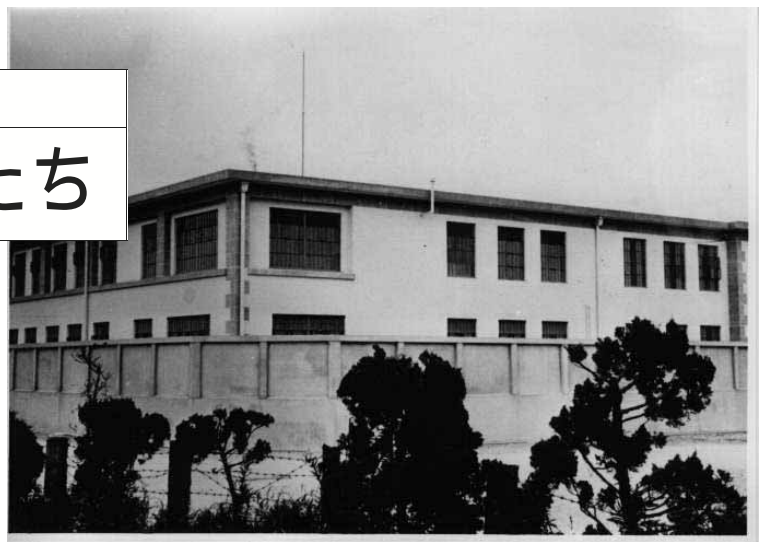
◆ 題字：桂田 俊武

# 阪本病院にいた教授たち

私が精神科医師になって初めて赴任してきたのが阪本病院でした。以来、多くの先生方との出会いがありました。そういった阪本病院との関わりで知り合った先生方のなかで特に印象的だった、精神科の元教授だった先生や、後に教授になられた先生方の思い出を書いてみました。どの先生方も大変な業績をあげ、学問のうえで一派をなし、後進の指導に尽くされた立派な先生ばかりで心から尊敬しております。しかし、身近で見る先生方は人情あついで、仰天するような、愉快で、それでいてどこかちょっと抜けているような人間味の豊かな楽しい方々だったと思い出されます。

阪本病院にそんな先生方がおられたのを知っておいてもらいたいと、一人ずつの思い出を書いてみました。なにぶん遠い昔の話で、私の記憶が正確ではなかったり、思い違いをしていることも沢山あるかと思いますが、余分なことや失礼なこともつい書いてしまったかとも気になる所ですが、ここに書いたこと全部が私の懐かしい思い出です。失礼なことがあればお許しください。

川越知勝



**平畑富次郎先生** (大阪女子医学専門学校 現関西医科大学 教授)  
明治38年和歌山に生まれ、昭和6年京都大学を卒業。昭和21年に大阪女子医学専門学校の教授に就任され、昭和25年に阪本病院の院長となられたが、数年で退職された。その後関東の病院に赴任。俳人として高名で号は静塔。平成9年死去。

阪本三郎院長が大阪市立大学の精神科教授になられ、阪本病院を離れておられた間に阪本病院の院長をされておられたのが平畑富次郎先生でした。

平畑先生は旧制第三高等学校に在学中から俳句の同人誌を作っておられ、大学にはいってからも京大俳句を主宰しておられました。京大俳句では従来俳句に抵抗し、季語を詠まない無季俳句の運動をおこなっていました。しかし、おりしも日中戦争が始まっており、たまたま街角で見かけた傷病兵を痛ましく思う句を掲載したところ、この非常時に俳句の集まりなどしているのは反戦思想の持ち主で、非国民だと言われ、特別高等警察に捕らえられ3カ月近く拘留されました。

先生は京都大学を卒業したあと、若くして大阪女子医専の教授に就任されましたが、思うところあってか、任期半ばで退職され、京阪病院について阪本病院の院長に就任されました。平畑先生は口数も少なく温厚な人柄で、どちらかといえば院長職は向いていなかったようで、阪本病院ではあまり実績を残しておられなかったようです。その後、知人を通じて強く懇願され、栃木県の病院の院長に就任されました。病院では院長業務を支えてくれる人達にも恵まれるのびのびと過ごしておられたようです。毎年新年に京都で行われる精神科の同門会にも来られましたが、関西を離れて長くなり、話し相手もなかったようで、私を見つけて懐かしそうに近づいてこられ、昔話をきかせてくださいました。

平畑先生は俳号を静塔と名乗られ、関東では俳人として有名でした。平畑先生が精神科医であることを知らない人でも、平畑静塔といえば広く知れ渡っていました。特に1971年に俳句の世界では最高の栄誉といわれる蛇笏賞をとられてからは一層高名となり、時の東京大学の総長や医学部長も弟子になって師事されていました。関東では関西とちがいで、まだまだ俳句がさかんようです。やはり俳句は武士社会につよく根づいたものだったのでしょうか。その意味では、先生は大阪などに居ないで関東に行かれてとてもよかったと思います。

しかし、晩年に病院の患者処遇をめぐる、患者さまからの告発を受け、精神神経学会からも管理者としての責任を追及されることになりました。しかし、先生は自らの行為には落ち度はなかったと主張されるばかりで、管理者としての責任問題についてはとうとう理解できなかったようでした。

今にして思うに、京大俳句で傷病兵を詠み反戦主義者と思われたり、大阪女子医専の教授だったときに学生を連れて瀬戸内海のハンセン病の隔離収容所の島を訪問し、世間の差別に敢然と立ち向かう人道的な方のようにも評価されてきたのですが、先生の考えのなかには、そんな大それた気持ちはなく、その時々情景を素直に受け入れてこられたただけだったような気がします。

「我を遂に 癩の踊りの 輪に投ず」

ハンセン病の収容施設である長島愛生園を医学生と訪問されたときに、ちょうど盆踊りをしていて、それを見ているうちに思わず学生たちと一緒に踊りの輪に加わったときの句です。あの当時にこんなことができた先生はすごいと思い、この句にも感銘をうけます。ただ「癩の踊り」と言い切ってしまうのは俳人にはできても、精神科医には到底できないことと思います。先生が俳人と精神科医という二足のわらじを最後まではき続けてしまったために晩年の不幸がおこったと思われてなりません。

## 阪本三郎先生 (大阪市立大学 教授)

京都大学卒業後しばらくしてフランスに留学し、帰国後昭和5年に阪本病院を設立し院長に就任。昭和21年に大阪市立大学に医学部が新設され、精神科初代教授に招聘された。定年退官後は阪本病院の院長に再任された。

「三郎さんは若いときからスキッと紳士やったなあ」

私が精神科医師になった年に阪本病院に赴任することになったのを聞いて、私の母は懐かしそうにそう話してくれました。阪本三郎院長が京都大学を卒業して精神科に入局したときは、お父様の阪本元良先生(大阪癩狂院院長)がご健在で、その息子さんを阪本先生と呼ぶわけにもゆかず、それにまだ若いので「三郎さん」と呼ばれていたようです。



私が阪本病院に来た頃は、大阪市立大学を退官され、阪本病院の院長に復帰されていました。一時体調を崩されていたとのことでしたが、お元気そうで週4日位は病院に来られ、母の話のとおり、かくしゃくとしたなかなかの紳士でした。病院に来られるときは病院の運転手が黒い外車で送ってきます。阪本院長の専用車はリンカーンです。気をつけて見ていると阪本家には車にもちゃんとした序列があって、健二副院長はビュック、正男医長はクライスラー、三男の良夫先生はフォードのタウンスでした。病院の玄関前にこの4台の高級車がずらりと並んでいるのはとても壮観でした。朝出勤して院長室に座られると、まず、秘書にジンジャーエールを冷蔵庫から出さして、ゆっくりと飲んでおられました。これは北杜夫の小説「榆家の人々」の院長そっくりで、当時はジンジャーエールを飲むのが流行りだったようでした。

久しぶりに京都大学から若い医師がきたことと、その若い医師に1号館の約80人の入院患者全員を受け持たすのが気がかりだったこともあったからでしょうか、長らく途絶えていた院長回診を再開されました。阪本三郎先生は身だしなみにはとても厳しく、白衣やワイシャツが汚れていると「服の汚れに気がつかない男は、下着が汚れていても平気ではいている奴だ、と軽蔑されるよ」と注意され、回診のときは気がついたものです。

ある日の回診で、前日入院した患者さまを紹介し、まだ診断がつかないと云うと、その患者さまに二言三言話しかけられたあとで私に「君、シルベンシュトルペルン(Silbenstolpern【独】=梅毒精神病にみられる独特の発語の障害)を知ってるか」と聞かれ、「言葉は知っていますが、実際に診たことはありません」と答えたら「今の話し方はそうみただから、まず梅毒検査をちゃんとやっておきなさい」と言われ、うっかり見落としていた私は冷や汗ものでした。

北杜夫の小説に出てくるように、阪本三郎院長も患者さまの頭に聴診器をあてて診察されたことがありました。初めて見てびっくりしていた私に、意識レベルの落ちている患者さまでは、頭蓋内出血があると、血管から血液が流れ出る音が聞こえることがあると説明されました。CT検査もない時代で、そんなことをして検査しているのかと当時はとても新鮮に思われました。でも、聴診器で、頭蓋内の血液の流れ出る音が聞こえるとは、今も信じられないのですが。



川越 知勝

かわごえ ともかつ

医療法人聖和錦秀会阪本病院医師  
精神科医

# 阪本病院の緑化運動



咲いた、咲いた、チューリップの花が、のチューリップです。桃色のチューリップの花言葉は“愛の芽生え”。恋人達が浮かれだす春にピッタリの言葉ですね。

4月のはじめ、今年も満開に桜の花が咲きました。去年よりも開花期間は短かったけれども、短い生涯なのに生命力にあふれた桜の花は、私達に生きる力を与えてくれるようです。



阪本病院見取り図



正面玄関

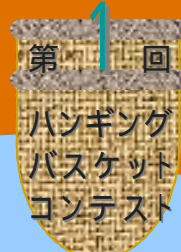
奥にパンジー、手前にアリッサム。パンジーの名前はフランス語の「パンセ(思想)」から採られたとか、こう聞くと、パンジーの花弁が、哲学者の顔のように見えてきませんか？



マーガレット、和名は木春菊っていうんだそうです。春菊とは関係なく、お鍋に入れてもおいしいかなと思いますが、せっかくなら、洋名と同じように和名も人の名前だったら趣があったのに、と思いませんか？



昔の阪本病院を知っている人が、久しぶりに病院を訪れたとすると、たぶん、「わっ！花ばっかりになってる」と思うに違いありません。園芸サークルや、入院患者さまのこつこつとした日々の世話が、文字通り花開いたのです。皆さんも少しだけ“阪本病院お花散策”はいかがですか？



平成23年  
4月16日開催  
阪本病院  
ふきのとう前  
駐車場にて

花

だらけ

ハンギングバスケットとは草花などを植えた吊り鉢のこと。愛好者も多くいろいろと意匠を凝らしたものを作っているらしいです。

阪本病院のハンギングバスケットコンテストでは、一般募集で15組がエントリーされ、その中から最優秀賞他の賞が、一般審査員の方によって選ばれました。

下の写真は最優秀賞に選ばれた作品とその制作者の方です。この作品は表紙にも使用させていただきました。



## 第4回 宝ジェンヌのサイン

宝塚歌劇団といえば『ベルばら』『エリザベート』が有名ですが、それ以外にも『風と共に去りぬ』『ME AND MY GIRL』、マイヤーリンク事件を描いた『うたかたの恋』、飛鳥時代を舞台に額田女王・天智天皇・天武天皇をあつかった『あかねさす紫の花』等々、さまざまなミュージカルを公演しております。昔は“学会会”と思っていたころもありましたが、いつしか通うようになりました。宝塚の良さは、お客さんが宝ジェンヌを育てるところ。初舞台から徐々に成長していく生徒さんを見守っているような感覚になります。

で、宝塚の観劇に行くようになって、いつのまにか集まりだしたサイン。まっ、興味のない方にはただの色紙なんですけど...結構、気に入っております~(\*^^)v。

特に御歳頂のジェンヌさんのサインをゲットしたときの喜びはひとしおです。

みんなの MONO もの じまん

この中でも特に大事にしているのが、安蘭けい(愛称：とうこ)さんが『スカーレット・ピンパーネル』のポスター(フォトサイズ)にされたサイン。とうこさんは元星組男役トップスター。2008年6月、『スカーレット・ピンパーネル』が日本で、それも宝塚で初めてミュージカル化するにあたって、ホームページに特設コーナーができました。その中でイベントがあり、抽選で全国の応募者の中から3人にしか当たらなかったサインです(∩∩)ノ。かつ、作品自体の出来が素晴らしく、宝塚を代表する新しい作品となりました。こうなると思い入れも強くなりますね~。この作品、2010年4月に月組で再演され、好評を博しました~。

もうひとつは、2004年1月、花組新人公演(舞台に立って7年までの新人だけで行う公演で、本公演と同じ内容のものを演じる)の男役トップを務めたときの



みすずあき 未涼亜希(愛称：まっつ)さんのサイン。作品は『天使の季節』。今現在、彼女は雪組3番手でがんばっておられます~(∩-)-

色紙で特に大事にしているのは、まっつさんの同期(84期生)、宙組3番手の北翔海莉(愛称：みっちゃん)の『誰がために鐘は鳴る』のときのサイン。やっとゲットいたしました。

今、狙っているのはまっつさん、みっちゃんの同期、雪組男役トップスターの首月桂(愛称：KIMU)さんのサインです(∩∩)ノ

医療安全管理室 M.M

このコラムは持ち物の じまん を通じて執筆者の趣味を紹介するコラムです



# 精神疾患を“知る”ということ。

## 阪本病院公開セミナーとは何か？

どの職業でもそうだと思うが、その仕事の質を上げるためには、日々の研鑽が必要だ。ただ漠然と同じ仕事をこなしているだけでは、その仕事自体には習熟するかもしれないが、今以上に仕事の質を高めるにはさらに上を見て、それに至る道筋を、絶え間ない努力と不屈の精神で作り出さなければならない。特に医療という分野は、日々新しい技術が生れ、時間をおかず適用されていく。他の技術系の分野なら、単に時代遅れの技術にしがみついても、業界の進歩

に取り残されるだけだが、医療という分野は、患者さまの生命に直結する。それだけに、より真剣に、真摯にならなければならない。そういった姿勢は、医療の利用者からも求められていることでもある。

当然当院も、精神医療という分野で一時代を築いたという自負はあるものの、古い技術にしがみついても旧態依然とした治療を続けているわけではない。新しい技術を吸収して治療に適用し、今以上に治療成績を上げていかなければならない。それが治療型の精神科病院としての宿命だと考えている。

そのためにはまず、精神疾患を

より深く“知る”ことから始めなければならない。

新しい技術を吸収し、治療者の能力を向上させ、患者さまの治療に還元する、それこそが、当院が昨年度より始めた阪本病院公開セミナーの元となるコンセプトである。

すでにセミナーとして開催回数3回を数え、当院の職員だけではなく外部からも、精神科病院関係者、学生、施設関係者等、多数の参加をいただいている。

今回この紙面を借りて、阪本病院の学術的な取り組みである、阪本病院公開セミナーを皆様にご紹介したい。

## 第一回 阪本病院公開セミナー ころとからだのメッセージを感じる

講師：池見 陽先生

～自分にやさしく。みんなにやさしく。～

日時 2010年1月23日(土)午後1時30分～

会場 医療法人聖和錦秀会阪本病院 ふきのとう会議室

援助の基本は相手を癒し元気にすることですが、そのためにはまず援助者が自分の心と身体が発する声に耳を傾け、自分を慈しみ、健やかであることから始まります。心理療法の技法のひとつであるフォーカシングでは、「体にうずうずと感ぜられるすぐさま相手への理でない感覚」に注意を向けることで、自分や相手への理解を深めようとします。池見先生のワークショップでは、頭で考えることを一旦脇に置いて、その場の空気や語りの流れの中から伝わってくる何かを感じるようなことができる時間でした。絶え間なく流れ続ける水のように、人のこのころの有り様もまた、刻一刻と変化し続けることを、やさしく、心地よく、深く体験することができました。

講師：池見 陽(いけみあきら)先生

関西大学臨床心理専門職大学院教授

臨床心理士 医学博士

フォーカシング指向心理療法家

著書：「僕のフォーカシング＝カウンセリング」(創元社)「心のメッセージを聴く」(講談社現代新書)等



## 第二回 阪本病院公開セミナー 精神科臨床における表現療法

講師：山中 康裕先生



日時 2010年2月28日(日)午後1時30分～

会場 医療法人聖和錦秀会阪本病院 ふきのとう会議室

講師：山中 康裕(やまなかやすひろ)先生

京都大学名誉教授 浜松大学大学院教授

京都ヘルメス研究所所長

精神科医 医学博士 臨床心理士

著書：「少年期の心-精神療法を通して見た影」(中公新書)「臨床ユング心理学入門」(PHP新書)等

### 気概の漲った時間でした

病院に入職したての若き山中康裕医師のおはなし。長く入院されておられる方々と絵を描くことを許して欲しいと病院長に直訴されたそう。どんなにお金のかかる治療法を提案されるか...と身構えた病院長も「そうか」と、自らポケットマネーで紙や鉛筆を準備してくださったとのこと。状態の悪い患者さまを心配した看護師が思わず先生の頬をひっぱたいたことも。治療にかかわるすべての人が、とにかく真剣に前人未踏のこころの世界へ踏み込んでゆく覚悟と気骨を持つこと。フロア全体に気概の漲った時間でした。

臨床心理室S.S

# 特集 阪本病院 公開セミナー のすべて

## 第三回 阪本病院公開セミナー 精神疾患の病態理解と認知行動療法

講師：原田 誠一先生

～悪循環からの抜け道をとともに見いだす～



日時 2011年1月29日(土)午後5時30分～・30日(日)午前9時～

会場 大阪市北区 天満研修センター

講師：原田 誠一(はらだせいいち)先生

原田メンタルクリニック、

東京認知行動療法研究所 院長

精神科医 医学博士

認知行動療法の第一人者

著書：「強迫性障害のすべてがわかる本」(講談社)「精神療法の工夫と楽しみ」(金剛出版)等

### 疑問の多くが解決

原田誠一先生という、認知行動療法の第一人者の先生に症例スーパーバイズして頂き、症例の精神病理に関する疑問の多くが解決しました。認知行動療法の特徴を印象付ける自作マジックも披露出来て、ホッと一息です。今後も認知行動療法の普及に貢献したいと思えます。 医局K.R



3月26日に開催予定だった、講演会「べてるの家がやってくる～感じてみようべるの風」は東日本大震災の影響でやむなく中止いたしました。参加申し込みされた方をはじめ、ご支援いただいた方、多くの方々にご迷惑をおかけしましたことをこの場を借りてお詫びいたします。

さて、今年度も阪本病院公開セミナーを企画しております。まだ詳細は決まっておりませんが、精神科領域での碩学をお迎えし、ご出席いただいた方に大変実りのあるご講演をいただけるようスタッフ一同がんばってまいりますので、今年度以降の阪本病院公開セミナーにも是非ご期待ください。

認知行動療法を駆使する阪本病院精神科医で、マジシャンのジョニー久保田によるマジックショーも。

# 聞いて! かつん

## なんでも

### 相談室

精神科病院に入院すると

...の巻

解

変

謎



かつん先生



ゆうこりん

病院にはたくさんの方が入院しているけど、精神科は無理やり閉じ込められているって本当？



かつん先生

行き先がなくて閉じ込められているという時代も昔はあったけど、今はほとんどの人が自分の意思で入院しているよ。これを任意入院って言うんだ。



ゆうこりん

入院したくない人は入院にならないの？



かつん先生

先生が入院必要と判断した場合は、本人の意思に反して入院となる場合もあるよ。ただし、法律によって厳密に手順が決まられていて、医療保護入院という入院形態の場合、保護者の同意が必要になるんだ。



ゆうこりん

保護者ってパパとかママのこと？



かつん先生

両親またはそのどちらか一方が保護者になることが多いけど、両親がいない人もいるからね。大人で配偶者がいれば配偶者だし、三親等以内の親族がなることもあるよ。



ゆうこりん

どうして自分の意思に反して入院させられる制度がまだにあるの？



かつん先生

精神科の対象とする病気の中には、病識がない、って言うんだけど、その病気のために自分が病気であることを理解できないことがあるんだ。そうすると早期の治療が必要なのに、適切な治療が受けられなかったりするんだ。だから病状があきらかに悪化しているのに、病識がなく本人が治療を希望しない場合でも、入院して治療できる体制を整えておく必要があるんだ。もちろんそのようにして入院した方でも、ほとんどの方は適切な治療を受けてその後退院しているよ。



ゆうこりん

一旦入院すると、ずっと退院できないって聞いたけど？



かつん先生

任意入院の場合、本人が申し出ればいつでも退院できるよ。他の病気に比べて、治療に時間がかかるのも事実だけど、今はすぐれた治療法がいくつも確立されていて、昔に比べて入院期間は格段に短くなってきている。決して精神障害をもつ患者さまを社会から隔離するために精神科病院があるわけではないんだ。他の病院と一緒に、患者さまに良くなってもらうためにあるんだ。精神科病院への入院形態がいろいろあるのも、基本的には、患者さまの精神症状に合わせて、適切な治療環境を提供するためなんだ。



ゆうこりん

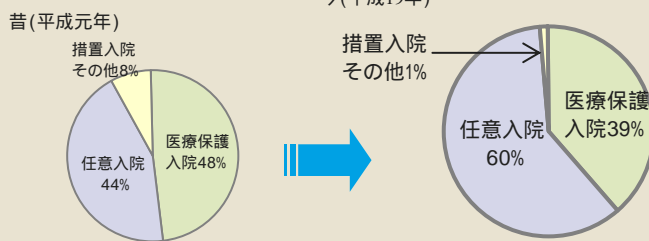
うん、よくわかったよ。今回は、かなりまじめな話だったね。

精神科入院形態の種類

入院形態	同意書	自傷他害のおそれ	入院要否診察	書面告知	備考
任意入院	本人	×	医師	管理者	退院制限72時間
医療保護入院	保護者	×	指定医(特定医師)	管理者	保護者・扶養義務者(4週間以内)の同意による入院
措置入院	知事命令		指定医2人以上	知事等	都道府県知事、指定都市市長の権限で行われる
緊急措置入院	知事命令		指定医1人	知事等	上記と同じだが、入院期間72時間以内
応急入院	×	×	指定医(特定医師)	管理者	入院期間72時間以内

吉富薬品株式会社 精神保健福祉法説明資料より(2009年)

入院形態別入院患者割合



厚生労働省調査より

## さかもとの

父との

## curryなる生活

思い出

父はカレーにウスターソースをかけて食べていた。

「カレーとして味は完成しているはずだから、そのうえソースをかける必要はないはずだ」と何度となく言った覚えがある。その都度父は、「ぼくたちの頃はソースをかける食べ物が高級やったんや」と答えていた。「高級料理 西洋料理 ソースをかける 西洋料理 高級料理」ということか。

それが高じてか、彼は天ぷらにもソースをかけていた。

「なんにでもソース」については、幾度と

なく父との会話があったが、たいていいつも「高級感」が答えだった。高級感に伴う「幸福感」のニュアンスがあったこともある。

ところが、私が長じてから、「天ぷらにソースをかけて美味しいの？」とあらためて聞いたときがあり、「いや、あまり美味しくないねん」と答えられて、こちらがずっこけてしまった。

彼は肉料理が好きだったが、この肉が美味しい、美味しくないとは言わずに「柔らかい」「柔らかくない」と言い分けていた。柔らかければそれでええんか？とっていたものだが、いま考えるとたしかにそうだったのだろう。

終戦時に14歳だった昭和5年生まれのは彼は、美味しいものの何たるかを知ることがないままに今に至ったのであろう。

そんな彼の息子たる私だが、味にうるさい

というには程遠いながら、美味しいものは好きだ。

今や食欲は、腹を満たすだけの欲から、美味しいものを求める欲になっているのは誰しも認めるところだろう。美味しいものを知るとさらに美味しいものが食べたくなる。また、美味しいものにこだわることの幸せは、美味しくなかったときのガッカリと隣り合わせだ。お釈迦様に言わせればこんなに無駄な欲はないだろう。

テレビではグルメ番組が流れない日はない。しかし、「グルメがそんなにエライのか。父はカレーにウスターソースをかけてたぞ」と言いたくなることもある。

事務部M.S

(このコラムは毎回各執筆者にカレーにまつわる思い出を綴っていただいています。)

ある日記者のもとに編集長からの厳命が下った。「釣りクラブに1日同行して、取材してこい！」 - どうして釣りクラブなのか、どうして私なのか、聞き返せるわけもなく、記者は取材の準備に入った。しかし、これは仕事なのだろうか、遊びなのだろうか？ 交通費は出るのか、自腹なのか？ 公休で行くのか、業務時間として行くのか？ いろいろな想念や不安が記者の頭の中をよぎる。とにかく、同行取材する日がやってきて記者は車中の人となった。さて、この同行取材はうまくいくのか、それとも...

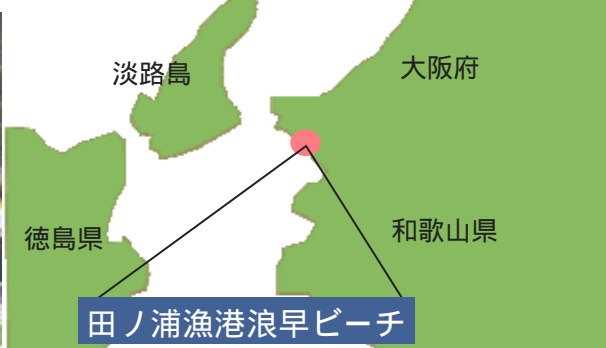
平成23年  
4月17日  
(日)

釣りクラブ

同行取材



天気は快晴で期待感に湧く釣り人たちがしかし...



田ノ浦漁港浪早ビーチ

今面白いのは  
釣り  
だっ！！

体験記



体長約30cmのヒラメ。どうもその日この湾で釣れた唯一の大物だったらしい。



Fishing

続々と集まった阪本病院の釣り自慢達。しかし、釣れるのはイワシばかり...。そんな中、唯一の大物が写真の「ヒラメ」！ 尊敬の念をこめて釣り上げたK氏を囲んで記念撮影。



獲ったナマコを食べる

さて、上記の遠征でナマコを釣り上げてしまった釣りクラブN氏（ナマコって釣れるのか？）。N氏よりナマコの調理法を皆さんに伝授します。



1 ナマコをつかむ。  
塩もみする。  
もちろん生きてますよ。ナマコとしては超大物です。



3 腸を取り出し、よく洗います。白く透き通るナマコの腸。塩漬けにすると日本三大珍味のひとつ「このわた」になります。



2 塩もみ後、切り分けます。まな板の上のナマコです。



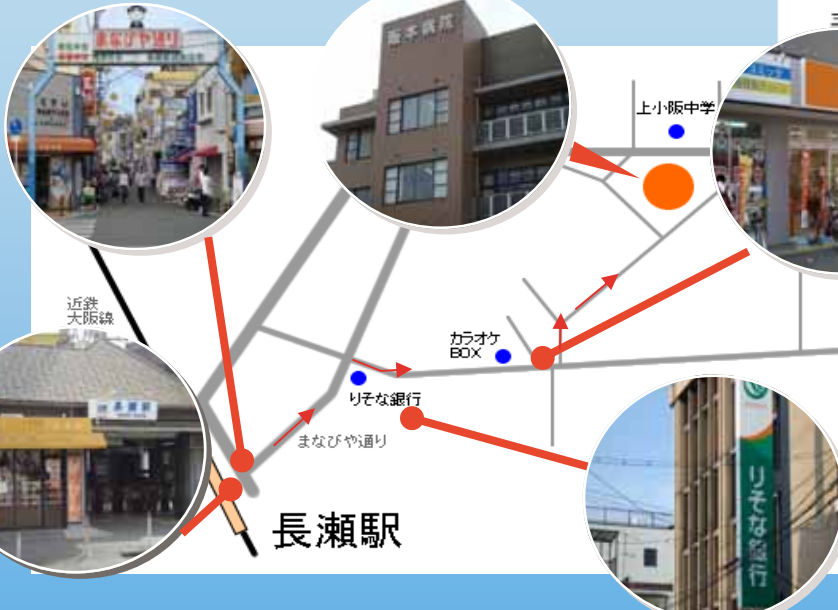
4 切り分けた身にポン酢を垂らして、ナマコ酢の完成。日本酒とどうぞ。

.....うまい！

最初にナマコを食べた人の勇気を讃えたい。（編集長談）

車で

- ・吹田方面から  
近畿道を経て東大阪北ICから約5分
- ・奈良方面から  
第二阪奈道を経て東大阪荒本ICから10分
- ・和歌山方面から  
阪和道を経て東大阪南ICから約5分
- ・大阪市内から  
阪神高速を経て、東大阪荒本ICから10分



電車で

- ・近鉄長瀬駅から  
徒歩7分
- ・JR環状線から  
JR環状線鶴橋駅で近鉄大阪線(普通電車)に乗り換え  
「国分」または「高安」行 乗車8分

曜日別外来担当医師

診察時間 9:00 - 17:00

	月		火		水		木		金		土	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
診察室 1	三好	三好	桂田明希	久保田	川越	川越	久保田	三好	赤津	赤津	山中	吉田
診察室 2	桂田	水野	川村	川村	桂田	山本	桂田明希	岡田	川村	川村	水野	
診察室 3	川越	川越		西	江本		西山		西	山中	江本	
診察室 5				吉田							西山	
漢方外来	生島	生島	生島	生島	生島	生島	生島	生島	生島	生島	生島	
初診	当番制											

・外来診療の担当医師が変更になる場合があります。  
・初診の場合事前に電話等による予約が必要で  
・入院をご希望の方は事前にお電話で  
ご相談の上ご来院ください。

平成23年9月15日現在

編集後記

寒くなってきました。え、違った、そろそろ桜の季節ですが、おっと、また違った。残暑厳しい季節ですが、当たっての？ 発行が遅れるたびに書きなすのつて面倒くさいなあ。念のため書いておこうと。枯葉舞い散る季節です。 (編集長)

わたしは今号をまとめて編集から外れます。これで編集局を離れたのは4人になりました。当初からの編集局員は編集長一人だけになりました。その中でもなんらの痛痒がないのは、本誌の編集が編集長の踏ん張り才能に負うところが大きかったことの証左でしょう。あ、もちろん後任の編集員もがんばっていることはもちろんです。 (E.S)

これから皆様のこ叱責・ご指導よろしくお願います、というのほ嘘で、本当はホメてほしい。これは他の編集員も同じだと思つて、今号も、ホメるところを無理から探してもホメてやってくださいませ。(M.S)

最近、新しいカメラを追加しました。フルサイズ機というやつです。(ここからは分かる人だけ付いてきてください)でかい！ 重たい！ 高い！ と三重苦です。しかし、今回の広報誌では間に合わず、携帯電話、コンパクト・デジカメ、APS-Cで撮影した写真が使われています。お好きな方はブラインド・テストしてみたい？ 回答はいつでもお寄せいただけます。全問正解者には何も出ません。(Y.T)

この春に阪本病院を退職し、看護学校に通っています。今思い返すと、改めて阪本の人の優しさ温かさを実感します。広報誌に関わられたおかげで、他部署の皆さんと交流できたことも楽しかったです。 (J.J)

今回の広報誌「さかもと」は見開きで特集記事を読む等、新たなことに挑戦してみました。いかがでしたか？ 次の広報誌「さかもと」もお楽しみに！ (J.J)

編集後記のスペースが空いているからって、私に何を言わせようとしているんだ。ただのハトに期待しても、何も知らんよ。とりあえずエサをくれ。フン害で憤慨しないでね。(ハト)